

# 農文協 の全集

## いつの世も変わらぬ大切なものを活写 写真ものがたり 昭和の暮らし

全10巻・既刊9巻 須藤功著、A B判、上製、各240頁、各5,250円、揃52,500円  
【既刊】①農村②山村③漁村と島④都市と町⑤川と湖沼⑥子どもたち⑦人生儀礼⑧年中行事⑨技と知恵【続刊】⑩くつろぎ（2007年7月予定）



すげ笠の早乙女（秋田県湯沢市、昭和30年代。①農村）



第1期・全5巻

「豊かさ」が見捨ててきたもの  
今、終戦後に生まれ高度経済成長に邁進し、情報化時代に翻弄されながら休む間もなく働いてきた団塊の世代が、ぞくぞくと定年を迎えようとしている。「小生は昭和21年生まれです。貧しいようでも、家族地域が心を通わせ、一体感のある、あの時代が本の中にあふれていて素晴らしい。あの写真の中に再び入っていききたい気持ちになった。父も母もあの中にいます。」  
このような読者からの感想が多く寄せられているが、それは、金やモノによる豊かさや利便性を追い求めてドカドカと見捨ててきた大切なものが、一枚一枚の写真から伝わってくるからだろう。本全集は、いつの世も変わらぬ大切なものを活写し方を呼び覚まし、本当の欲求をもとに暮らしを創り、生きていく糧となる貴重な映像記録として、後世に読み継がれていくだろう。

まっとうに生きて日本人の原風景  
本全集は、高度経済成長が始まる前の昭和三〇〜四〇年代に、全国各地の地方写真家が作爲なくありのままに写し撮った貴重な生活記録写真を各巻、約350枚収録している。民俗学者・宮本常一の「名も知れぬ庶民の暮らしの中に大切なものがある。それらは時代の変化とともに忘れ去られてしまふ」という言葉を道標とし、全国各地の暮らしや行事などを撮り続けた著者の民俗学写真家・須藤功は、写真の背景や生きることへの思いを、子どもたちにも読めるようルビ付きで綴っている。  
例えば、戦後の十数年間は、軍国主義の国家の重圧から解き放たれ、貧しくはあっても生きることへの、働くことへの欲求が全開し



男に扮して踊る「こっから舞」（①農村）



野辺送りの一行（③人生儀礼）

た時代であった。また石油や電気、車や家電製品が庶民の暮らしに入り込んでおらず、家族や地域の仲間とともに、手足を使って働き、喜び合って暮らしを立てていた。このころまでは、まだ江戸時代生まれの方も生きていたし、日本人の暮らしの原風景が色濃く日常の暮らしに息づいていた最後の集大成でもある。

### 全50巻 都道府県別編集

**【各道府県版】**  
岩手・神奈川・長野・京都・福岡 各3500円、他各4500円

**【特別編集版】**  
東京編『大江戸万華鏡』CD「大江戸四季の音巡り」付10000円、沖繩編CD「沖繩を聴こう（沖繩民謡）」付7000円、大阪編『大阪の歴史力』10000円

**【索引巻】**  
近世日本の地域づくり 200のテーマ 5000円

東京都港区赤坂7-16-11  
TEL 03(6500)1141  
FAX 03(6500)1307  
www.nobun.or.jp

### 江戸時代 人づくり風土記

地域の個性を活かす、  
活力溢れる生活文化と産業。  
ふるさとの原点がここに

地方が中央から独立し、侵略や自然破壊なく地域社会を充実させ、来るべき循環型社会、成熟社会のモデルとして世界的に注目される江戸時代。

その魅力を、各都道府県ごと、行政、自治、産業、教育、学芸、福祉、民俗など多彩な分野、約50編の物語で描く。

B5判、上製、平均380頁、各巻に物産一覧、カラ1口絵つき

# 農文協 の全集

## 住まい・暮らし・地域づくり— 伝統を引き継ぎ明日に生かす 百の知恵双書

第1期・全20巻・既刊13巻 B5変型判、上製、  
平均168頁●各2800円、揃価56000円



二棟造りの民家。愛知県新城市の夏目家(撮影・川島宙次)

百の知恵双書に宮本常一 執筆時とほぼ同時期に撮影の『日本人の住まい』が加されたものであることも読者にとりありがたい。野沢正光建築工房 野沢 正光

### 宮本常一『日本人の住まい』の収穫

#### 生誕百年記念出版

野沢正光建築工房 野沢 正光

日本の住宅の平均寿命は約30年。先進国の中で極度に短い。スクラップ&ビルドのたび、町並みからは地域の記憶が消え、人のつながりも希薄になっていった。いま、近くの山の木で家をつくる運動や、街中の古樹を残して地域の自然な空調装置として活用するなど、「こういう家で(まちで)暮らしたいか」を問いただす動きが起きている。そんな関心に応えるユニークな全集「百の知恵双書」に話題の新作が加わった。

百の知恵双書に宮本常一 執筆時とほぼ同時期に撮影の『日本人の住まい』が加されたものであることも読者にとりありがたい。

あのことろ様々な人々によりこうした調査をさせたのかと思う。

僕自身が宮本の良き読者であったわけではないが、この数年、文庫本に収録されたおりに読み返すことがあった。住まいについてこれ等にももちろん触れられているが今回の出版は格別うれしい。泊まり歩きながら体験した宮本ならではの記録である。



- 10 椅子づくり百年物語 宮本茂紀
- 11 台所の二万年 山口昌伴
- 12 湖上の家、土中の家 益子義弘他
- 各2800円

ある囲炉裏や炉がいかに大きい意味を持つかを思うこととつながる驚きであった。興味がつながるところに考えるヒントがある。眠っていた原稿に目を当てた努力に敬意を表したい。

#### 【百の知恵双書・既刊】

- 1 棚田の謎 田村善次郎・TEM研究所
- 2 住宅は骨と皮とマシシンからできている 野沢正光
- 3 目からウロコの日常物観察 野外活動研究会
- 4 時が刻むかたち 奥村昭雄
- 5 参加するまちづくり 伊藤雅春・大久手計画工房
- 6 洋裁の時代 小泉和子編
- 7 樹から生まれる家具 奥村昭雄
- 8 まちに森をつくって住む 甲斐徹郎・チームネット
- 9 昆虫 大きくなれない擬態者たち 大谷剛

## 農文協

TEL 03(6360)0000  
FAX 03(6360)1147

# 住む

sumu Quarterly Magazine

## 増刊 現代農業

---

季刊 定価1200円 年間4800円

住まいは住む人、家族の生き方の表現。身の丈に合った普段着のような家を作る/住まうための実用&文化誌。発行・泰文館、A4変型判

No. 22 2007夏  
**特集 自分でつくる家。**  
つくること、暮らすこと/住みながら作る「棚」と「庭」/賃貸の京町家を自力改修して住む/足かけ五年のハーフ・セルフビルド

No. 21 **働く台所。**

No. 20 **賢い「日本の家」。**

季刊 定価900円 年間3600円

定年婦農、産直・直売、グリーンツーリズム、地元学、食農教育...農の暮らしによるライフスタイル革命、地域づくりの動きを全国から報告。A5判

**農的共生社会**  
自治と自給で「格差」を超える  
2007年5月号 市場原理の暴力と農・食をも  
・医・教・労・住の荒廃。村と都市、  
れぞれの自治と自給で取り戻す(人  
の・人)のつながり。  
2月号 **脱・格差社会**  
11月号 **よみがえる廃校**

# 病家須知

## 現代人が失った養生の叡智 —日本初の看護書、現代語訳

びょうかすち 全3冊 原著・平野重誠、監修・小曾戸洋(北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部長)  
監訳・中村篤彦(松柏堂医院院長)、編著・看護史研究会、B5判・上製・箱入●定価29,000円(分売不可)

原本、巻一。寝つけない病人を水音で眠りに誘う気遣い。



### 人間が持つ力を最高に発揮させる 看病の技と心を現代に 『病家須知』の現代語訳を完成させて

看護史研究会代表 坂本 玄子

私は約三十年、養護教諭として子どもたちのからだと心に向き合ってきましたが、刻々と子どもが変わって行く、しかも健やかな発達ができない悪い方へ変わって行くことに危機感を抱いています。風邪を引かな

いとか、おいしく食べて元

薬を出すことで稼ぐことばかり考えている医師を痛罵します。そんな医師にかかるよりも看病が大事、看護する人の力がなければ本当には治らないということを強調して、老若男女、ふだんから病気のときまで、からだと心両面の看護の手立てをこの本にまとめました。それは生涯町医者で通した自分の経験から来る、徹底した実践の書です。私も、本書で重誠が教えている「一人あんま」を毎朝実行しながら、こうした心遣いがお年を召した方の介護にもいいだろうと思うて

逆児を取り上げる方法  
(「こころき草(原名・回坐婆心得)」より)



### これからの地域保健・地域看護

#### 在宅介護は、江戸に学ぼう

国保名田庄診療所(福井県)所長 中村 伸一

江戸時代後期、日本独自の家庭医学書があった。同時代トップの医の実践家、平野重誠の著書『病家須知』である。

この時代に、療養の場は家庭であった。看病は家長の役割で、妻はむしろ補助的であった。平和な飽食の時代で、医道退廃が目立つ世の中でもあった。

「医者三分、看病七分」の「看病」(看護・介護)の心得と技術を説いている。内容は、今でいう予防・救急・周産期・子育て・終末期・心の健康・感染症など実に幅広い分野にわたる。多くの知識を持ちながら介護の場が在宅へシフトし

らそれを鵜呑みにせず、実



つつあるシェンダーフリー

包帯の巻き方

家庭医学書『病家須知』は、多くの地域保健・地域看護・在宅介護の関係者に新たな発見をもたらすであろう。(全国国民健康保険診療施設協議会理事、自治医科大学地域医療学臨床講師)

# 農文協 の全集

# 「いのち」と「からだ」と「こころ」の 総合医学

## 農文協の医と健康の全集

### いのちを養う実践の書

#### 『病家須知』

『病家須知』は庶民のための実践の書。その半分を妊娠・出産と子育てに関する記述が占めているのは象徴的なことだ。健康づくりはいのちの始まりとともに始まる。

もう一つ象徴的なのは、医療は手助けであり、本人の自然治癒力を養う(損なわない)ことが大切である。示したと言えるだろう。

#### 近代を超える「いのち学」

#### を築いた安藤昌益

安藤昌益は有能な医者でもあった。その昌益は、それまでの医書が病変の治し方を論じてきたのに対し、健康ないのちのあり方から医を説く。当時の医学の定形である内科重視、産婦人科軽視とはまったく逆

医学)より。

健全ないのちのあり方を目指すからこそ「からだ」と「こころ」をトータルにとらえることができる。『病家須知』の実践を思想的に高めたものとも言える昌益医学の全貌は「安藤昌益全集 増補篇」に詳しい。

また、昌益の思想とは対極をなし、ある意味では日本独自に近代を準備したとも言える漢方・古方派の巨頭、吉益東洞と永富獨嘯庵の事績と、医食同源の日本資料となる。

#### 現代に生きる

#### いのちの思想の水脈

近代西洋医学が主流となつてからも、医を疾病中心・治療中心の視点からではなく、生命・健康の視点から見て個人の健康と地域・社会の健康を一体のものとしてとらえる医の水脈は途切れなかった。「衛生とは生産・生活・生命を衛(まも)ること」「いのちは食なり」と説いた『丸山博著作集』や、医学史でも疾病史でもない『戦後日本病人史』を著した川上武、さら



『医心方 食養編 建殊録 東洞医学の成果 医聖 永富独嘯庵』

### 日本的「いのち学」の系譜

- ★日本漢方の精髓―未病の追究 叢書 日本漢方の古典
- 【全3巻】粟島行春編訳 医食同源の原典と、新感染症の流行や実証的医学の発達を背景に日本独自に成立した古方派の業績。復刻・書下し・注解・現代語訳、B5判・上製・箱入り
- 医心方 食養編 ●168000円
- 建殊録 東洞医学の成果 ●168000円
- 医聖 永富独嘯庵 ●189000円

### ★独自の医学思想の発見 安藤昌益全集 増補篇

【全3巻】病気を治すよりも健康をつくる。近代を超える昌益医学の理論と処方全貌を示す新発見資料。全著作内容のCD-ROM付。A5判

- 巻一 良中正道編著/良中先生自然真営道方
- 東均・新谷正徳編著/巻二 真斎漫筆 天・地・人(上) 中村篤彦編著/巻三 真斎漫筆 天・地・人(下) 中村篤彦編著附録・昌益医学ハンドブック ●各150000円、揃450000円

### ★日本衛生学の泰斗の全業績 丸山博著作集

【全3巻】森永砒素ミルク中毒追跡調査や乳児死亡統計など「いのちと食」を民衆の側から問い続けた著者の全業績。

- 1 死児をして叫ばしめよ
- 2 いま改めて衛生を問う
- 3 食生活の基本を問う

●各35000円、揃105000円

### ★患者の側から医療を総括 戦後日本病人史

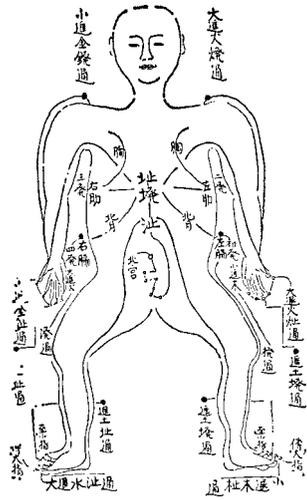
川上武編著 被爆者、ハンセン病、公害病、臓器移植やゲノム革命など高度先端医療の進展・激動の戦後医療を患者の立場で初めて総括し、21世紀の医療と福祉を展望。

●120000円

## 農文協

東京都港区赤坂7-16-11  
TEL:03(6200)1141  
FAX:03(6200)1037

安藤昌益の「人神ノ運回スル自然ノ図」



# 農文協 の全集

## アジア文化のルーツを探访 日本とアジアの未来を考える 図説 中国文化百華

第1期・全20巻・既刊14巻 各206頁、  
A5判・上製、各3,200円、揃価64,000円



多くの日本文化のルーツである中国。国際社会で中国の存在感が大きくなる中で、私たちが中国文化をどのように受け止め、独自の文化を創ってきたかを知ることは、アジアと世界の未来を考える出発点になる。刊行中の『図説 中国文化百華』に、アジアのエコロジカル・ヒストリーを研究してきた上田信氏の「風水」をテーマにした新刊が加わった。いま、風水にどんな意義があるのだろうか。

### 日本人に必要な風水論

『風水という名の環境学』を刊行して

立教大学教授 上田 信

墓の話はもう止めよう。 インテリアの話も止めておこう。暮らしやすい環境を見つめるヒントを与える風水論を、書いてみよう。本書を執筆中に、そんな気持ちの転機が訪れた。研究者の手になる概説書は、万物に活力を与える「気」が山脈を伝わって流れてくることを紹介し、墓地の適地となる地形を解説する。ところが、生者に直

「気」については、日本には「湧いて出てくる」と発想はあるものの、遠方から流れてくるという観念がない。巨大な大地と身近な住環境、その二つを貫いて流れる「気」の理論を紹介できたのではないが、本書の筆を指したとき、そんな充足感を私は秘かに覚えた。

接に関わる風水については、ほとんど言及しない。他方、実用書として書店に並ぶ風水書は、家族の運勢が家具や小物の配置と深く関連すると説く。間違っているわけではないものの、結論が導き出される過程は断折しているために、記述は断定的になりがちで、些末な話に陥りがちである。わたしが書きたいのは、そんな風水論ではない。

研究所や図書館の書庫に潜り、手当たり次第に風水書の原典を読みあさったとき、不思議な風水書と出会った。四百年ほど前に書かれた『地理独啓玄関』であった。この書は墓地風水も論じているが、平地に墓地風水の適地があったら、そこに家を建てるのは控えよ、などと記す。そのような土地には、かつて古い墓地があり、邪気が留まっている可能性が高いためである。山奥に「気」の溢れるポイントがあったら、墓地にするには適していないくても、周囲の植生を護りなさいと、その書は述べる。溢れ出した気は人の居住地に流れ落ち、住民に繁栄をもたらすからである。

風水に則った巨大な客家の客家の集落(左は筆者)



- 1 風水のルーツを探る
- 2 風水の歴史
- 3 おん目の雫 ぬぐはばや 鑑真和上 新伝 王勇
- 4 イネが語る日本と中国 佐藤洋一郎
- 5 しじまに生きる野生動物たち 今泉忠明
- 6 神と人の交響楽 中国 飯面の世界 稲畑耕一郎
- 7 王朝の都 豊饒の街 中国 国都市のパノラマ 伊原弘
- 8 癒す力をさぐる 東の医学 西の医学 遠藤次郎他
- 9 火の料理 水の料理 木村春子
- 10 13 「天下」を目指して 中国 多民族国家の歩み 王柯
- 11 14 真髓は調和にあり 吳清源 碁の宇宙 水口藤雄
- 12 16 歴史の海を走る 中国造船技術の航跡 山形欣哉
- 13 17 君当に酔人を怨すべし 中国の酒文化 蔡毅
- 14 18 「元の染付」海を渡る 三杉隆敏著

### 中国関連図書ガイド

#### 戦後日本哲学思想概論

下崇道編著 近代化への精神文化建設を目指す中国の国家的プロジェクト研究。ポストモダン以降まで各思潮ごとに検証。 ●9200円

#### 江戸・明治期の日中文化交流

浙江大学日本文化研究所編 日本に近代化の範を求め日中の文化交流が盛んに行われた清朝末期。その意義を多角的に検証。 ●4200円

#### 中国博物学の世界

小林清市著 熱帯植物誌『南方草木状』、古農書『齊民要術』などを中国の伝統的学問手法「考証学」に則って分析、検討。 ●6800円

#### 杜潤生中国農村改革論集

農林中金総合研究所編 改革開放期の農業政策を策定した最高実力者の論文・講話を精選。中国社会の基底を知る歴史的証言。 ●12000円

#### 中国近郊農村の発展戦略

APPA(アジア・太平洋出版連合)出版賞受賞  
今村奈良臣・張安明・小田切徳美著 河北省鹿泉市を綿密に調査。農業産業化の具体策を日中共同で提言した画期的報告。 ●4800円

#### 人民中国

月刊 定価4000円  
年刊48000円  
中国のいまを知る総合雑誌。最新の社会、経済から文学、芸能、伝統文化、自然まで幅広い内容。発行・東方書店



#### 農文協

東京都港区赤坂7-16-11  
TEL03(6200)1141  
FAX03(6200)1387

定期購読受付中

